

環境分科委員会のプロジェクト

日本海・黄海沿岸の海辺の漂着物調査（富山県）

1 目的

本調査は、①人工物による海辺の汚染実態を継続的に把握することにより、海洋環境保全対策、廃棄物対策等を推進するための基礎資料とすること、②沿岸地域住民の調査への参加を通して「ごみを捨てない心、海の環境を守ろうとする心を育む」という共通意識を醸成し、環境教育を推進することを目的としている。

海洋ごみ問題については、近年、国際的な海洋環境問題として注目されてきており、環日本海地域沿岸に漂着している漂着物量を統一的な手法で調査する本プロジェクトの調査結果は、日本政府や国際機関において漂着物対策の基礎資料として利活用されているところである。

2 事業内容

(1) 実施時期

2009年4月～2010年3月

(2) 実施場所

日本海・黄海の海岸

(3) 実施方法

ア 調査主体

参加自治体が小学生、中学生、高校生及び民間団体の協力を得て実施

イ 調査回数

各参加自治体、海岸毎に年間1～4回の頻度で調査を実施

ウ 調査方法

- ・ 海水浴場等に、波打ち際から陸地方向へ連続的に3区画程度の調査区画（1区画10m×10m）を設定する。
- ・ 設定した調査区画の漂着物を全て拾い集め、次の8種類に分類し、個数及び重量を測定する。

- | | | | |
|-----------|-------|------------|-------|
| ① プラスチック類 | ② ゴム類 | ③ 発泡スチレン類 | |
| ④ 紙類 | ⑤ 布類 | ⑥ ガラス・陶磁器類 | ⑦ 金属類 |
| ⑧ その他の人工物 | | | |

エ 調査結果

参加自治体から本県に提出された調査結果は、(財)環日本海環境協力センターが取りまとめを行い、報告書等を作成する。

(4) 参加自治体

北東アジア地域自治体連合会員とその他の自治体を合わせた22自治体で実施予定

日本：北海道、青森県、山形県、新潟県、富山県、石川県、福井県、京都府、兵庫県、鳥取県、島根県、山口県、福岡県、佐賀県、長崎県

ロシア：沿海地方、ハバロフスク地方、サハリン州
韓国：江原道、慶尚北道
中国：河北省、江蘇省

3 2008 年度事業結果

(1) 参加自治体

北東アジア地域自治体連合会員とその他の自治体を合わせた 22 自治体で実施

(2) 実施結果

現在結果の取りまとめを行っており、近日中に報告書を公表する予定



調査実施状況